

一、譲渡シ得ヘキ銀行證券ニシテ紛失又ハ盜取セラレタルモノナルトキハ發見者窃取者ハ所有者ニ對シ取戻ヲ拒ムヲ得ス又占有者ニ對シ取戻ヲ爲スヲ得ス

二、發見者窃取者若クハ所有者ト計算上ノ關係ヨリ證券ヲ有セシモノカ無償ニテ之ヲ譲渡シタルトキハ取得者又ハ所持者ハ所有者ヨリ取戻ヲ受クルコトナシ又第三者ニ對シ之カ取戻ヲナシ得ルモノトス

三、占有ノ當時ニ於テ取得者又ハ所持者カ紛失又ハ盜難ノコトヲ知ルカ又ハ其ノ相手方カ證券ヲ取引シ又ハ譲渡スノ資格ナキコト知ルカ若クハ不正ノ原因ニテ之ヲ取得シタルコトヲ知リタルトキハ假令無償ノ譲渡ノ場合ト雖モ之カ權利ヲ主張シ又ハ取戻ヲ請求シ得サルモノトス

紛失又ハ盜難證券ノ所有者カ若シ善意ノ所持者カ現出シタルトキハ其ノ權利ヲ認ムルノ條件ヲ以テ期限ノ到来シタル元金又ハ利子ノ仕拂ヲ受クルコトヲ得從テ所有者ハ元金又ハ利子ニ等シキ保證ヲ納メ且ツ證券カ曾テ其ノ手中ニアリシコト及之ヲ紛失シタルコトヲ證明シテ債務者ニ對シ衡平裁判ヲ請求スルコトヲ得裁判所ハ此ノ證據ニ對シテハ極テ廣キ範圍ヲ以テ之ヲ許スルモノトス

證券ノ再渡ハ債務者タル會社ノ定款ニ定メタルトキニ限り其ノ條件ニ依リ之ヲ請求スルコトヲ得

毀損ヨリ生スルモノニ對シテハ所有者ハ此ノ毀損ノ事實ヲ申立テ毀損債券ノ證明ヲ

スルコトヲ得

ナシ債務者ニ對シ保證ヲ立テスシテ元金ノ仕拂若クハ新證券ノ引渡ヲ請求シ得證券ノ半分ヲ紛失シタルトキハ毀損トシテ之ヲ取扱フモノトス

亞米利加國

合衆國ノ法制ハ英國ノ法制ニ類似セリ故ニ善意ノ所有者ノ權利善意ノ認定并ニ公告ノ效果等ハ英國ト異ナルコトナシ紛失又ハ盜難ニ依ル證券ノ所有者ハ債務者ニ對シ左ニ記載ノ條件ニ適合スルニ於テハ其ノ權利ヲ主張シ得ルモノトス

紛失又ハ盜難ニ係リタル證券ニ對スル公告ハ新聞紙ニ掲載シ又各取引所ニハ通牒ヲナスモノトス同時ニ仕拂ヲ請求スヘキ債務者ニハGavat 又ハagilavieニ依リ通知スルモノトス

紛失證券ノ所有者ハ期限ノ到来シタル元金又ハ利子ノ仕拂ヲ受クル爲メ衡平裁判所ニ請求シ得ヘシ所有者ハ其ノ手中ニ曾テ證券ノアリシコト并ニ之ヲ紛失シタルノ證據ヲ立ツヘシ此ノ證據ニ付テハ裁判所ハ單純ノ推定ヲ下スモノトス此ノ場合ニ於テハ證券ノ元金又ハ利子ト同額ノ法定保證ヲ立テサルヘカラス尤モ時效期間後ハ此ノ限ニアラス證券カ時效期間後ニ現出シタルトキハ保證ハ之ヲ解除ス若シ又其ノ現出カ時效期間満了前ナルトキハ債務者ハ證券ノ仕拂ヲ拒絶シ證券ヲ保管シテ以テ紛失者所持者間ノ訴訟ノ結果ヲ待ツモノトス

合衆國ノ法制ハ英國ノ如ク紛失所有者ノ證券再渡ヲ請求スルノ権利ヲ認メサルモノトス

證券ノ紛失カ毀損ヨリ生スルトキハ英國ノ規定ト同一ナリ然モ若シ之カ聯邦ノ證券ニ關スルトキハ證券ノ元金又ハ利子ノ二倍ノ額ノ保證ヲ立テシムルモノトス

露西亞國

露西亞帝國ノ普通法典ニ依レハ動產ノ取得時效八十箇年トシ正權限ニシテ善意ナルモノト此ノ二箇ノ性質ヲ缺クモノトノ間ニ區別ナキモノトス其ノ他動產カ貸借、寄託、質入ノ目的物ナルトキハ借主受托者又ハ質取主カ信用ヲ濫用シタルトキノ如キモ所有者ハ善意ノ所持者ニ對シテ救濟ノ途ナキモノトス其ノ他流通證券中最モ必要ナルモノ即チ國庫證券若クハ政府ノ擔保スル證券ニ付テハ法律ハ紛失證券ノ所有者ノ利益ヲ保護セス政府ノ利益ヲ主トシテ第三所有者ニ仕拂ヲ爲シ得ルコトヲ認メタリ千八百九十五年一月二十七日及二月八日ノ勅令ノ細則ヲ定メタル省令ハ國債及政府ノ保證アル證券ノ毀損盜難及紛失ニ係リタルモノノ所有者ノ權利ヲ規定セリ

紛失證券ノ所有者ハ政府ノ償還委員ニ其ノ證券ノ取得ノ日及ヒ紛失ノ場合ヲ指定シタル申告ヲナスヘシ調査ノ末大藏大臣ハ左ノ條件ニ依リ元金及年金ノ仕拂ヲ許可スルモノトス

第一ノ場合 證券ノ券面ヲ紛失シ利札ヲ所有スル場合

利子全部ノ仕拂期限ヲ經過シタル後ニアラサレハ元金ノ仕拂ヲナサス此ノ場合ニ於テ申告者ハ此ノ利札ノ提供ニ依リ所有者トシテ利札ノ金額ヲ受クルコトヲ得證券ノ券面額ハ若シ其ノ紛失證券カ仕拂ノ爲メ提出セラレサルトキハ利子仕拂最終期日ヨリ三十箇年後ニ仕拂ハルルモノトス

申告者カ證券ノ償還期ニ至リ元金ノ仕拂ヲ受ケントスルトキハ少クモ證券ノ券面額及ヒ已ニ仕拂ハレタル利子ニ相當スル國債又ハ政府ノ保證スル證券ヲ以テ擔保トシテ政府ノ償還委員ニ供托セサルハカラス此ノ擔保ハ紛失證券ノ利子仕拂最終ノ日ヨリ三十箇年間保管スルモノトス

紛失證券カ提出セラレヌシテ三十箇年ヲ經過シタルトキハ右ノ擔保ヲ返還ス若シ其ノ期間内ニ證券ノ提出アリタルトキハ欠缺ノ利札ノ全額ヲ除キ證券ノ持者ニ元金ヲ仕拂フモノトス而シテ國庫ハ其ノ擔保ヲ賣拂ヒ之ヲ仕拂ニ充ツルモノトス若シ之ニ過剰アリタルトキハ擔保提供者ニ之ヲ返還ス

紛失證券ノ所有者カ擔保ヲ供セサルトキハ國庫カ其ノ所有者ニ仕拂フヘキ金額ヲ以テ其ノ他ノ證券若クハ政府カ保證シタル證券ヲ買入レ之ヲ紛失證券ノ利子最終仕拂期日ヨリ三十箇年間償還委員ノ手ニ供托セシムルモノトス此ノ證券ノ利子ハ其ノ都度供托者ニ仕拂フ而シテ三十箇年後紛失證券カ現出セサルトキハ其ノ證券ヲ返還ス之ニ反シテ證券ヲ所持スル者カ欠缺ノ利札ノ金額ヲ差引元金ノ仕拂ヲ受ケタルトキ

ハ冀ノ買入證券ハ國庫ノ所有ニ歸スルモノトス

證券ノ利子ニ付テハ紛失證券ノ所有者ハ其ノ手中ニアル利札ヲ以テ其ノ仕拂期限ノ都度之ヲ領收スルコトヲ得且又利札引換證ヲ提示シテ新利札ヲ受クルコトヲ得

第二ノ場合 證券面ト利札ト共ニ紛失シタル場合

證券ノ元金ハ以上ニ述ヘタル如ク之ヲ仕拂フト雖モ紛失證券ニ附著シタル利札ニシテ元金償還ノ期日定マル證券ナルトキハ其ノ期日マテノ分ヲ差引クモノトス利札ハ紛失シタル證券ニ附著シタル最終期日以後ノモノニ限り之ヲ仕拂フモノトス

申告以後ノ利札ノ更新ニ付テハ其ノ新利札ハ償還委員ノ手ニ之ヲ保存ス此ノ證券ノ利子ハ其ノ仕拂期日後十箇年ニシテ證券モ利札引換證モ提出セラレサルトキニ限り申告者ニ仕拂ハルモノトス證券ニ附屬シタル利札カ終了シタル後ノ利札ニ關シテモ同様ナリトス

申告者カ少クモ紛失證券ヲ十箇年間ノ利子金額ニ均シキ露國國債又ハ政府ノ保證スル證券ヲ以テ擔保スルトキハ申告以後ノ新利札ハ償還委員之ヲ保存スト雖モ擔保提出者ニ其ノ期限到来ノ都度其ノ利札ヲ引渡スモノトス新利札ノ消滅ニ付テモ證券ノ利子終止ノトキマテノ分ニ對シ同一ノ取扱ヲナスモノトス

擔保ハ利子仕拂終止ノ日ヨリ十箇年間之ヲ保管ス若シ此ノ期間内ニ新利札ヲ得ンカ爲メ證券ヲ提出シタルモノアルトキハ此ノ所持者ハ尙ホ切取ラサル利札ヲ受取り得

ルノミナラス尙ホ十箇年ノ時效ニ係ラサル利子ニシテ已ニ申告者ニ拂渡シタルモノト雖モ之ヲ受取ルコトヲ得國庫ハ其ノ利子ノ仕拂金額ニ對シ擔保物ヲ賣却シタルモノヲ以テ之レニ充ツ若シ過剩アリタルトキハ擔保物提供者ニ之ヲ返還ス

第三ノ場合 證券面ハ之ヲ所持シ利札又ハ利札引換證ヲ紛失シタル場合

利札引換證ニシテ一定ノ期間經過後ニハ利札ヲ受取ルコトヲ得サルコトノ記載アルモノニ付テハ紛失者ハ最初ノ利札更新ノトキ利札引換證ニ記載シタル時期終了以後ノ利札ノミ引渡ヲ請求スルコトヲ得

参考ノ爲メ左ノ事項ヲ附加スヘシ即チ千八百九十五年一月二十七日及二月八日ノ勅令ハ國債ノ元金ノ時效ヲ三十箇年ト定メ又其ノ證券ノ利札ニ對シテハ十箇年ノ時效ナリト規定セリ

第十二 勸業債券ノ消滅

勸業債券ハ左ノ三種ノ方法ニ依リテ消滅スルモノト然ルニ債券ノ消滅ハ即チ債權其ノ物ノ消滅ニシテ假令ヒ其ノ債券ハ形ニ於テ消滅セサルモ債券カ表示スル債權消滅スルモノナルヲ以テ其ノ證券ハ紙片ニ過キサルモノトス

一 債還

二 買入銷却

三 時效

債還ニ普通債還ト借換債還ノ二種アリト雖モ要スルニ債還ノ原因ニ差違アルマテニシテ債還其ノ物ニ差異ナシトス此ノ債還ノ規定ハ日本勸業銀行法第三十六條ニアリテ佛國土地抵當銀行ノ基本法ト同一ナリ即チ貸付金ト債券發行高トノ平均ヲ得セシメントスルニアリト雖モ此ノ比例ハ佛國ニ於テモ嚴守スルコトヲ得ス佛國ニ於テハ當時某々ノ債券ハ某々ノ貸付資金ニ充ツルト云フ主義ヲ採リタレトモ其ノ發行並貸付ノ增加トニ依リ其ノ平均ヲ取ルコト頗ル

難トナレリ我銀行法ニ依レハ年賦債還貸付金及其ノ引受ケタル農工債券ノ償還高ニ應シ毎年二回以上抽籤ヲ以テ勸業債券ヲ債還スヘシトアリテ佛國ノ如ク貸付ト債券トノ連鎖密接ナラサルノミナラス一箇年ノ貸付金ノ償還高ヲ豫定シ債券ノ償還高ヲ定ムルモノニアラスシテ發行ノ當時其ノ償還金額ヲ確定シアルヲ以テ必スシモ之カ平均ヲ保チ得ルモノニアラス去リナカラ貸付金ノ期限前ノ償還多數アリテ貸付高ト債券發行高ト餘リニ平均ヲ缺クコトアルヲ慮リ臨時債還ヲナシ又ハ第三十六條ノニ依リテ期限前ノ償還金額ヲ限度トシテ買入銷却ヲナスコトヲ得ルモノトス此ノ買入銷却ナルモノヲ濫用スルトキハ徒ラニ債券ノ相場ヲ昂騰セシメ其ノ間ニ利益ヲ壟斷スル等ノ方法ナシトセサルヲ以テ法律ハ期前償還ヲ受ケタル金額ヲ限度トスルコト及ヒ大藏大臣ノ認可ヲ受クルコトノ二條件ヲ設ケタル所以ナリトス時效ノ規定ハ勸業銀行法第四十條ニ勸業債券ノ所有者其ノ元金ハ十五箇年又利子ハ五箇年ニシテ其ノ要求ノ權ヲ失フトアリ民法第一百六十七條ニ依レハ債權ノ時效ハ十年トアルヲ以テ民法ニ對スル特例ノ如シト雖モ全ク然ラス銀行法ハ民法實施前ニアリ

シヲ以テ舊來ノ出訴期限ヨリ來リシモノナリ從テ此ノ規定ハ時效ナリヤ失權ナリヤト云フ問題ヲ生スヘシ是レ時效ニシテ失權ニアラサルナリ時效ト失權トノ差ハ中斷シ得ルト否トニアリ蓋シ本法ハ新民法施行前ニ發布セラレタルモノニシテ未タ時效ノ規定ナキタメ斯ク失權ノ如キ規定ヲ設ケタル所以ナリトス償還ハ必ス抽籤ニ依ルヘキモノトス之レカ抽籤方法ハ勸業銀行ニ於テハ其ノ用器二種アリテ其ノ一ハ鐵製太鼓形ノ鋼鐵張リ機械ナリ其ノ高サ五尺五寸直徑四尺五寸巾二尺高サ三尺五寸餘ノ臺上ニ据付ケ直徑凡ソ五分程ノ木造ノ球ニ番號ヲ刻シタルモノヲ入レ之ヲ能ク廻轉シ取出棒ヲ突込ミ引出ストキハ一個ノ球カ棒ノ尖ニアル穴ノ中ニ入りテ引出サルルナリ今一ハ鐵骨樹形ノ硝子張リノ機械ニシテ直徑二尺二寸四方ニテ高サ四尺程ノモノナリ其ノ球ハ直徑四分程ノ「アルミニニーム」製白銅貨形ノモノニシテ何レモ之ニ番號ヲ刻シ廻轉シテ引出スコト第一ノ機械ニ同シ第一ノ機械ハ佛國土地抵當銀行ニテ仕用スルモノヲ模造シタレトモ第二ノ機械ハ勸業銀行創造ニ係ルモノナリ

債券ノ規定ノ償還ハ會社カ債券發行ノトキ約定シタル負擔ヲ返還スルニアリ普通債

務者カ其ノ債務ヲ履行スルカ爲メ期限ヲ設タルモノナリ若シ其ノ期限カ債權者ノ利益ノ爲メニ設ケタルモノナルトキハ債務者ハ其ノ期限前ニ仕拂ノ權利ナキモノトス土地抵當債券ノ期限ハ債權者ノ利益ノ爲メニ設ケラレタルモノナルヤ否ヤニ付或ル論者ハ曰ク資本家ハ其ノ資金ヲ貸付ケ確定ノ收入ヲ得ル爲メ應募ヲ爲ス如キ意思ヲ有スルヲ以テ期限ハ債權者利益ノ爲メニ設ケタルモノナリト云フヘシト反對論者曰ク民法第千百八十七條ニ依リ期限ハ債務者ノ利益ノ爲メニ設ケタルモノニシテ債權者ノ利益ノ爲ニ設ケルトキハ明ニ之ヲ約定スルヲ要ス尙ホ土地抵當銀行ノ廣告及ヒ券面記載事項ニ依ルモ同行ノ利益ノタメニ約定セラレタルモノニシテ即チ償還ハ一定ノ時期ニ償還セサルヘカラサルノ義務ナシトスト
土地抵當券ハ元金仕拂ニ一定ノ時期ヲ設ケス唯タ其ノ償還ノ最長期ヲ六十年若クハ七十年ト定メタルモノハ借入人カ借受ケタル金額ノ全部ヲ一時ニ償還スルモノニアラス債券ノ發行高ハ貸付高ト正確ナル比例ヲ保タサルヘカラサルヲ以テ銀行ハ毎年債券ノ一部分ヲ償還セサルヘカラス債券償還ノ因テ生スル場合左ノ如シ
一 貸付ニ對スル年賦償還
一 貸付ノ期限前ノ償還

年賦償還ナルモノハ借入人カ借受ケタル金額ノ全部ヲ一時ニ償還スルモノニアラスシテ之ヲ細分シテ順次償還スルモノトス從テ毎年利子並ニ貸付金額ニ應シ計上シタ

ル元金ノ一部ヲ償還シ終ニ幾年ノ後貸付總額ヲ全部償却スルコトニアルナリ斯ノ如ク會社ハ毎年貸付金ノ一部ノ償却ヲ受ケ現在貸付金額ト債券發行高トノ平均ヲ保タサルヘカラサルニ因リ貸付金ノ年賦償還高ニ應スル高丈ノ債券ヲ償還セサルヘカラサルナリ

又貸付ハ期限前償還ヲ爲スコトヲ得ルモノトス土地抵當銀行ノ基本法ハ借入人ノ債務免脫ニ成ルヘク利益アル方法ヲ採リタルヲ以テ借入人ニハ其ノ債務ノ分割部分ヲ償還セシムルノ方針ナルニ拘ハラス債務者ニ多少著ルシキ金額ヲ償還シ債務免脫ヲ急クノ便ナル場合ナシトセサレハ千八五十二年ノ法律ハ其ノ第十條ニ依テ借入人ハ何時ナリトモ全部又ハ一部ノ期限前償還ヲナシ其ノ債務ヲ免ルルノ權利ヲ有ストセシ所以ナリ此ノ方法ハ經濟上誠ニ效果ヲ奏セシト云フ

貸付カ借入人ノ希望ニ依リ期限前償還ニ依リ全部ヲ償却シタルトキハ土地抵當銀行ハ之ニ應スル債券ヲ流通シ置クヲ得サルヲ以テ其ノ金額ニ應スルモノヲ償還セサルヘカラス此ノ期限前償還ハ借入人ノ單一ノ希望ニ依リ生スルモノナルヲ以テ償還スヘキ金額ヲ豫見シ得サルモノトス故ニ土地抵當銀行ハ債券發行ノ時毎年何程償還セラルヘキヤト云フ標準ヲ立ツルヲ得サルヲ以テ單ニ發行ノ時償還スヘキ最終期日丈テ表示スル所以ナリトス(法律第十六條定款第二十八條)

法律第十六條ニ毎年云々トアリ毎年重役會議ニ於テ貸付金償還ノ高ニ應シ償還スヘ

キ債券ノ高ヲ定ムルモノトス
土地抵當銀行ノ債務者ハ前述セシ如ク毎年一定ノ年賦金ヲ仕拂フモノニシテ其ノ年賦金ナルモノハ元金ノ一部借入金ノ利子ヲ含ミ此ノ利子ヲ以テ會社ハ債券持主ニ仕拂フヘキ利子ニ充當ス借入人ヨリ受クル利子ト債券所有者ニ仕拂フヘキ利子トノ差金力銀行ノ収益トナルモノナリ此ノ差金ハ定款第五十八條ニ依リ百法ニ付六十仙ヲ超過シ得サルモノトス第二ハ貸付金一部ノ償還ニシテ此等ノ償還アリタル場合ハ總テ之ニ應スル債券ハ直ニ之ヲ無效トスヘシ其ノ無效トスル方法ハ之ニ消印ヲ押捺スルニアリ次ニ其ノ債券ヲ總裁重役會員及一名ノ監査役立會ノ上棄却シ之ニ關シテハ日誌ヲ調製セサルヘカラス(定款第八十七條)

期限前ノ償還ニシテ今日ハ全ク其ノ跡ヲ絶チタレトモ若シ貸付カ債券ヲ以テナサレタルトキハ債務者ノ希望ニ依リ額面金額ノ債券ヲ以テ償還スルモ又現金ヲ以テ償還スルモ勝手ナリトス此ノ場合ハ如何ナル方法ニ依リ債券ヲ償還スルヤ若シ債券ヲ以テ償還セラレタル場合ハ極テ簡單ニシテ其ノ仕拂トシテ受ケタル債券ヲ無效トスルニ止マリ債券ト貸付トノ比例ハ最明カナリ實際ハ此ノ債券ハ棄却セラレス定款第八十七條ニ依リ債券ニ消印ヲナスト雖モ再ヒ總裁ノ認印ニ依リ之テ流通セシムルコトアリ此ノ場合ニハ債券ハ抽籤ニ加ハリ全ク償還ナキモノトシテ取扱ハルルモノナリ然ルニ論者ハ此ノ場合ニ於テハ貸付ト債券トノ比例ヲ破壊シ債券發行高ハ貸付高テ

超過スルモノナリトノ非難アリ之ヲ反駁スル論者ハ曰ク此ノ方法タルヤ決シテ貸付ト債券トノ比例ヲ破壊スルモノニアラス何トナレハ其ノ債券ハ流通セラレス唯タ銀行ノ倉庫中ニアリテ存スルニ止マリ銀行ハ債権者ト債務者ノ地位ヲ一身ニ集メタルニ依リ混同ヲ生シ其ノ間ハ睡眠中ノモノナリ故ニ現實流通スル債券ニ少シモ變動ヲ生スルコトナク債券ノ所有者ハ其ノ擔保ヲ減少セラレサルナリ此ノ方法ハ僅少ノ不都合ナキノミナラス却テ左ノ二點ニ於テ利益アリ

第一 債還ノ爲メニ設ケラレタル機關ノ事務ヲ簡易ニスル利益アリ何トナレハ此ノ場合ハ債還ナキモノト認ムルコトヲ得レハナリ

第二 新規貸付ノ請求アリタルトキハ直ニ之ニ應シ得ルト此ノ貸付ニ應スル丈ノ債券ヲ直チニ流通セシムルコトノ利益アリ故ニ之カ爲メ新ニ債券ヲ發行スルノ必要ナク唯タ總裁ノ認印ヲ以テ舊キ債券ヲ復活セシムルニ過キサレハナリ

前述セシ如ク債券カ銀行ノ手ニ歸シタルトキハ混同ニ依リ消滅スルハ民法第千三百條ノ適用ニ過キス然ルニ學者中債券ハ消滅セスト唱フルモノアリ「モンタギヨン」氏等ノ說ニ依レハ債權債務カ同一人ニ歸シタルヲ以テ權利カ停止セラレタルニ過キス故ニ何時タリトモ之ヲ第三者ニ譲渡スコトヲ得レハナリト「ジャクミエ」氏等ハ此ノ說ニ反シ銀行ノ手中ニ歸シタル債券ヲ再ヒ流通セシムルハ定款第八十七條ノ第四項ニ依ル形式ヲ取ラサルヘカラサルヲ忘却セシナラン之ヲ流通セシムルニハ總裁ノ認印ヲ要

スルハ始メテ債券ヲ發行スルトキト同シクシテ是レ發行方法ヲ省略シタルニ過キス故ニ混同ニ依ル最初ノ債券ハ消滅シタルハ論ヲ俟タサル處ナリト

又現金ヲ以テ債還アリタルトキハ土地抵當銀行ハ債券發行高ト貸付高トノ平準ヲ取ランカ爲メ其ノ債還高ニ應スル債券數ヲ債還スルカ又ハ買入銷却ヲナササルヘカラス買入銷却ヲ爲シタル債券ハ借入人カ銀行ヘ債券ヲ以テ債還シタル場合ト同一ノ運命ヲ有スルモノナリ即チ銀行ノ手中ニ此ノ債券カ歸スルトキハ混同ニ依リ消滅スルハ明カナリ千八百五十二年ノ法律ハ債還方法ヲ定款ニ讓リ定款第八十二條ハ債還ノ方法ヲ抽籤ニ依ルモノトセリ一ト度抽籤ヲ執行シタルトキハ其ノ當籤番號ヲ公告セサルヘカラス其ノ公告ハ債券所有者ニ債還セラルルコト並ニ利子受取ノ權利消滅スルコトヲ通知スルノ效力ヲ生スルモノトス

勸業債券論終

附錄

勸業債券一覽表

					同別
第廿五 圓分 券利回	第廿五 圓分 券利回	第十五 十分 圓利回	第十五 十分 圓利回	第十五 十分 圓利回	
一、五〇、〇〇	二、〇〇、〇〇	一、〇〇、〇〇	一、〇〇、〇〇	一、〇〇、〇〇	發行額
六明治卅二年 十一月一日	明治三十一年 十一月一日	明治三十一年 十一月一日	明治三十一年 十一月一日	明治三十一年 十一月一日	發行年月日
六明治三十二年 十二月一日	明治三十一年 十二月一日	明治三十一年 十二月一日	明治三十一年 十二月一日	明治三十一年 十二月一日	据置期間
十六 二 七月 七月 以初 降回	十六 二 月月 月月 以初 降回	十六 二 月月 月月 以初 降回	十六 二 月月 月月 以初 降回	十六 二 月月 月月 以初 降回	抽籤期 利拂期
一 二 三 四 五 六	一千円 五百円 三百円 一百円 四十円 十五円	一 一 二 五 七 一	一 一 一 五 七 一	一千円 五百円 二百円 一百円 五十円 十五円	每回ノ割増金額
三、〇〇	四、〇〇	二、二五	二、二五	二、二五	合計金額

第 利四 廿分 圓五 券厘 回	第 廿五 圓分 券利 回							
一、 000. 000	二、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000	一、 000. 000
六月二十二日 明治三十七年	十二月七日 明治三十六年	十月二十二日 明治三十六年	六月八日 明治三十六年	四月七日 明治三十六年	一月二十二日 明治三十六年	九月三十日 明治三十五年	六月二十三日 明治三十五年	明治三十五年
八月 明治三十七年	一月 明治三十七年	十月 明治三十六年	七月 明治三十六年	四月 明治三十六年	二月 明治三十六年	十月 明治三十五年	七月 明治三十五年	明治三十五年
八月二日	七月一日	十五日	七月一日	十四日	八月二日	十四日	七月一日	七月一日
月月	月月							
九月三日	八月二日	十六日	八月二日	十五日	九月三日	十五日	八月二日	八月二日
月月	月月							
以二初 降回同	以二初 降回同							
一一	一二	一六	一五	一五	一五	一三	一三	一三
一一	二八	一二	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一							
五二	二三	五二	三三	三三	三三	八二	三三	三三
四四	二二	四四	四四	四四	四四	四四	三三	三三
三三	二二	三三	九八六	九八六	九八六	七五三	五三	五三
三、一五	六、四三	三、二五	三、九、一六	三、五五	二、五五	二、四七	七、三三	七、〇五五

第貳拾九回 (同)二組	第貳拾八回 (同)三組	第貳拾七回 (同)二組	第貳拾六回 (十年五分利券)二組	第貳拾五回 (同)三組	第貳拾四回 (同)三組	第貳拾參回 (利年三分六厘復利券)二組	第貳拾貳回 (利四廿分利券)五組
一、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇						
明治四十五年六月二十五日	明治四十五年三月二十二日	明治四十四年十二月廿三日	明治四十四年九月三十日	明治四十四年三月三十一日	明治四十二年十二月十八日	明治四十二年七月十七日	明治三十七年九月七日
明治四十五年八月	明治四十五年七月	明治四十五年六月	明治四十五年五月	明治四十四年四月	明治四十三年三月	明治四十二年二月	明治三十七年九月
自一月至八十七回 自一月至八十六回 同三月二十二日							
月月							
九三月	八二月	七一月	十二月	五月	二月	十二月	九月
以二初降回同							
二五	三五	一五	五五	三五	二五	三五	一五
三五	三五	三五	四五	三五	二五	三五	二五
一一							
五四	五四	五四	四五	四五	四五	四五	四五
三九							
一一							
八、一九	八、一九	三、七五	八、一九	三、七五	四、六〇	一九、六〇	四、八六〇

| 第四拾壹回
(廿五圓分利券)三組 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 三、〇〇〇、〇〇〇 | 三、〇〇〇、〇〇〇 | 三、〇〇〇、〇〇〇 | 五、〇〇〇、〇〇〇 | 三、〇〇〇、〇〇〇 | 一、五〇〇、〇〇〇 | 一、五〇〇、〇〇〇 |
| 明治四十五年六月二十五日 | 明治四十五年三月二十二日 | 明治四十四年十二月廿三日 | 明治四十四年九月三十日 | 明治四十四年三月三十一日 | 明治四十二年十二月十八日 | 明治四十二年七月十七日 |
| 明治四十五年八月 | 明治四十五年七月 | 明治四十五年六月 | 明治四十五年五月 | 明治四十四年四月 | 明治四十三年三月 | 明治四十二年二月 |
| 自一月至八十七回
自一月至八十六回
同三月二十二日 |
| 月月 |
| 九三月 | 八二月 | 七一月 | 十二月 | 五月 | 二月 | 十二月 |
| 以二初降回同 |
| 二五 | 三五 | 一五 | 五五 | 三五 | 二五 | 三五 |
| 三五 | 三五 | 三五 | 四五 | 三五 | 二五 | 三五 |
| 一一 |
| 五四 | 五四 | 五四 | 四五 | 四五 | 四五 | 四五 |
| 三九 |
| 一一 |
| 八、一九 | 八、一九 | 三、七五 | 八、一九 | 三、七五 | 四、六〇 | 一九、六〇 |

第五拾回 (同)三組	第四拾九回 (同)三組	第四拾八回 (同)三組	第四拾七回 (同)三組	第四拾四回 (同)三組	第四拾參回 (同)四組	第四拾貳回 (同)四組
三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
五月廿五年正月廿一日	大正十三年正月十五日	大正十二年正月十五日	大正二年正月三十日	大正元年正月三十日	大正元年正月十五日	大正元年正月三十日
八月	大正三年正月	大正二年正月	大正二年正月	大正二年正月	大正二年正月	大正二年正月
至八十四回	自八十七回	自八十九回	自九十一回	自九十三回	自九十六回	自九十八回
八月	一月	八月	十四月	一月	十月	十一月
三月	一月	八月	十四月	一月	十月	十一月
以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同
四三	四三	四三	四三	三四	三四	三四
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七
一三、八六	一七、五八	一七、五八	一七、五八	一〇、三三〇	一〇、三三〇	一〇、三三〇

第六拾四回 (同)四組	第六拾參回 (同)四組	第五拾八回 (十五分利券)四組	第五拾五回 (十五分利券)四組	第五拾四回 (十五分利券)三組	第五拾貳回 (同)三組
四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
五月廿五年正月廿一日	大正十三年正月十五日	大正十二年正月十五日	大正二年正月三十日	大正元年正月三十日	大正元年正月十五日
八月	大正三年正月	大正二年正月	大正二年正月	大正二年正月	大正二年正月
至八十四回	自八十七回	自八十九回	自九十一回	自九十三回	自九十六回
八月	一月	八月	十四月	一月	十月
三月	一月	八月	十四月	一月	十月
以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同	以二月初降回同
四三	四三	四三	四三	三四	三四
一一	一一	一一	一一	一一	一一
一一	一一	一一	一一	一一	一一
二六	二六	二六	二六	二六	二六
二八	二八	二八	二八	二八	二八
三七	三七	三七	三七	三七	三七
一三、八六	一七、五八	一七、五八	一七、五八	一〇、三三〇	一〇、三三〇

一 當該債券ノ元金、割増金及月割金ノ支拂期ハ總テ抽籤期ノ翌月ナルヲ以テ之ヲ略ス
二 償還期限ハ總テ据置期限後四十ヶ年以内ニ付表中ヨリ省略ス

勸業大券一覽表

毎回償還額ハ第四十回ニ限リ毎回五萬圓以上
其他ハ其都度之ヲ定ムルモノナルニヨリ表中
ヨリ略ス

勸業大券一覽表

毎回償還額ハ第四十回ニ限り毎回五萬圓以上
其他ハ其都度之ヲ定ムルモノナルニヨリ表中
ヨリ略ス

記號	券面額	募集額	歩合子	發行年月日	据置期間	償還期限	抽籤期
四拾六回	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○	五一、 ○○○○○ ○○○○○
四拾五回	二、 二五九	一、 二三五	一、 二三五	一、 二三五	一、 二三五	一、 二三五	一、 二三五
四拾四回	三、 ○○○、○○○	五、 ○○○、○○○	三、 ○○○、○○○	三、 ○○○、○○○	五、 ○○○、○○○	二、 ○○○、○○○	一、 ○○○、○○○
四拾三回	大正二年五月三十日	大正二年五月十五日	明治四十五年四月三十日	明治四十四年五月十五日	明治四十三年十月三十一日	明治四十三年七月二十日	明治四十三年七月二十日
四拾二回	自大正二年六月一日至大正四年四月三十日	自大正二年五月十六日至大正四年四月三十日	自明治四十五年五月一日至明治四八年四月三十日	自明治四四年五月十六日至明治四八年三月三十一日	自明治四十三年十一月一日至明治四八年十月三十一日	自明治四十三年七月三十日至明治四六年七月三十日	自明治四十三年七月三十日至明治四六年七月三十日
四拾一回	同	据置期間後十八ヶ年以内	据置期間後二七ヶ年以内	据置期間後二六ヶ年以内	据置期間後二十五ヶ年以内	据置期間後十七ヶ年以内	据置期間後七ヶ月以内
十四月	十四月	十四月	十四月	九三月	十四月	七月	一月
五月	五月	五月	五月	五月	五月	八月	二月
十五	十五月	十一月	十一月	十四月	十一月	八月	二月
一月	十一月	十一月	十一月	十一月	十一月	八月	二月

特種勸業債券

己 號	戊 號	丁 號	丙 號	乙 號	甲 號	記 號
一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	券面額 四
一、 二千、 000	一、 三千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	募集金額 四
同	同	同	同	同	同	步利 合子 分母
明治 三十九 年五月 十八日	明治 三十九 年三月 二十九日	明治 三十八 年十月 二十八日	明治 三十八 年四月 二十八日	明治 三十八 年二月 十六日	明治 三十七 年十二月 一日	發行年月日
明治 四十 九年六 月三十 日以後 年内	明治 四十 九年三 月三十 日以後 年内	明治 四十 九年二 月三十 日以後 年内	明治 四十 九年一 月三十 日以後 年内	明治 四十 九年一 月三十 日以後 年内	明治 四十 九年一 月三十 日以後 年内	償還期限
十五 一 月月	九三 月月	七一 月月	七一 月月	八二 月月	十五 一 月月	抽藏期
十六 二 月月	十四 月月	八二 月月	八二 月月	九三 月月	十六 二 月月	利金支拂期

卯 號	寅 號	丑 號	子 號	癸 號	壬 號	辛 號	庚 號
一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000	一、 000
一、 二千、 000	一、 三千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000	一、 五千、 000
同	同	同	同	同	同	同	同
明治 四十二 年十二 月十五 日	明治 四十一 年八月 二十五 日	明治 四十一 年八月 二十 日	明治 四十一 年八月 八日	明治 四十五 年八月 十五日	明治 四十五 年一月 二十六日	明治 三十九 年九月 十五日	明治 三十九 年六月 十三日
明治 四十年 年四月 三十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内	明治 四十年 年四月 末十 日以 内後 年内
六十一 明治 四 年三 十 以 内後 年内	二九明 治 四 年四 月末 十 日以 内後 年内	十七明 治 四 年四 月末 十 日以 内後 年内	九七明 治 四 年四 月末 十 日以 内後 年内	於テ 全額償 還	明治 四十年 八月三 十 日以 内後 年内	明治 四十年 八月三 十 日以 内後 年内	明治 四十年 八月三 十 日以 内後 年内
十五	九三 月月	七一 月月	七一 月月		七一 月月	八二 月月	十五 一 月月
十六	十四 月月	八二 月月	八二 月月	九三	八二 月月	九三	十六 二 月月

第二子號	第二丑號	第二寅號	第二卯號	第二辰號	第二巳號	第二午號	第二未號
二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	四五、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
同	同	同	同	同	同	同	同
明治二十四年十二月二十八日	明治四十四年十一月三十日	明治四十四年十月三十一日	明治四十四年九月十五日	明治四十四年八月三十一日	明治四十四年八月十五日	明治四十四年五月三十一日	明治四十四年四月二十九日
明治四十五年一月三十日以六六後年內	明治四十五年一月三十日以六六後年內	明治四十五年八月三十一日以後年內	明治四十五年八月三十一日以後年內	明治四十五年八月三十一日以後年內	明治四十五年八月三十一日以後年內	明治四十五年五月三十一日以後年內	明治四十五年四月三十五日以後年內
十五 一 月月	十五 一 月月	十四 月月	八二 月月	八二 月月	七一 月月	十五 一 月月	十四 月月
十六 二 月月	十六 二 月月	十五 一 月月	九三 月月	九三 月月	八二 月月	十六 二 月月	十五 一 月月

第三酉號	第三申號	第三未號	第三午號	第三巳號	第三辰號	第二亥號	第二戌號	第二酉號	第二申號
二〇〇〇	二〇〇〇	一〇、五〇〇〇、五〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
五、四〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
大正十五年 三月三十日 年	大正十三年 十月十三日 年	大正十三年 八月二十日 年	大正十三年 三月三十一日 年	大正十三年 一月三十一日 年	大正十二年 十月三十日 年	大正元年 一月三十一日 年	大正元年 十月三十一日 年	明治四十五年 七月十五日 年	明治四十五年 五月十五日 年
大正二年 八月正月 内後年	大正三年 九月正月 内後年	大正三年 七月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正四年 十月正月 内後年	大正五年 十一月正月 内後年	大正五年 八月正月 内後年	明治四十年 八月正月 内後年	明治四十年 五月正月 内後年
大正二年 八月正月 内後年	大正三年 九月正月 内後年	大正三年 七月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正四年 十月正月 内後年	大正四年 十一月正月 内後年	大正四年 八月正月 内後年	明治四十年 八月正月 内後年	明治四十年 五月正月 内後年
十四 月月	十四 月月	八二 月月	十四 月月	八二 月月	十五 一月月	七一 月月	七一 月月	十六 二月月	十四 月月
月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月	月月

第三酉號	第三申號	第三未號	第三午號	第三巳號	第三辰號
二〇〇〇	二〇〇〇	一〇、五〇〇〇、五〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
五、四〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	一、三〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
同	同	同	同	同	同
大正十五年 三月三十日 年	大正十三年 十月十三日 年	大正十三年 八月二十日 年	大正十三年 三月三十一日 年	大正十三年 一月三十一日 年	大正十二年 十月三十日 年
大正二年 八月正月 内後年	大正三年 九月正月 内後年	大正三年 七月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正四年 十月正月 内後年
大正二年 八月正月 内後年	大正三年 九月正月 内後年	大正三年 七月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正三年 八月正月 内後年	大正四年 十一月正月 内後年
十四 月月	十四 月月	八二 月月	十四 月月	八二 月月	十五 一月月
月月	月月	月月	月月	月月	月月

貯蓄債券一覽表

と	(四組號)	ち	(同)	り	(同)	ぬ	(同)	る	(同)	を	(同)
二、〇三〇、〇〇〇	一、〇三〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	六、五〇〇、〇〇〇						
自明治廿九年十一月一日 至同 年十二月二十日	自明治卅九年九月十五日 至同年十月十日	自明治卅九年七月十日 至同 年八月六日	自明治卅九年四月五日 至同年四月三十日	自十七回四月五日 至四十四回十二月三十日							
四月	十二月	十月	七月	五月	二月	四月	十二月	十月	七月	五月	二月
自十七回三月 至四十四回三月	自十七回五月 至四十四回十二月	自十七回三月 至四十四回九月	自十七回四月 至四十四回十二月	自十七回四月 至四十四回十二月	自十七回四月 至四十四回十二月	自十七回三月 至四十四回三月	自十七回五月 至四十四回十二月	自十七回三月 至四十四回九月	自十七回四月 至四十四回十二月	自十七回四月 至四十四回十二月	自十七回四月 至四十四回十二月
三元	六	六	六	六	三元	三元	六	六	六	六	三元
九	四	四	四	四	九	九	四	四	四	四	九
三云	四	四	四	四	三云	三云	四	四	四	四	三云
五云	合	合	合	合	五云	五云	合	合	合	合	五云
六、八九	一、〇九	一、〇九	一、〇九	一、〇九	六、八九	六、八九	一、〇九	一、〇九	一、〇九	一、〇九	六、八九
七、八〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	七、八〇	七、八〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	七、八〇
四七、五合	七、三〇	七、三〇	七、三〇	七、三〇	四七、五合	四七、五合	七、三〇	七、三〇	七、三〇	七、三〇	四七、五合

一 當該債券ノ元金害増金及月害利金ノ支拂期ノ經テ相應期ノ翌月ナルヲ以テ之ニ時ス
二 償還期限は總て募集後二十ヶ年以内ニ付表中ヨリ省略ス
三 自第一回至第十六回割増金額ハ總テ抽叢済ニ付之ヲ略ス

發行所

振電話新橋二一九・三三六三番町
替口座東京十八八番町

株式會社勸業債券月報社

不許複製

勸業債券論議付

定價金拾錢

大正五年八月廿五日印刷
大正五年九月一日發行

著作者 齋藤甲子郎

東京府豊多摩郡淀橋町柏木九一〇番地
東京市下谷區中根岸町一〇九番地

發行者 池田富太郎

東京市本所區番場町四番地
飯島省一

印刷者

東京市本所區番場町四番地
凸版印刷株式會社分工場

74

,

352
127

終

